

出エジ 15 出エジプト記 12 章 1 節～28 節

「最初の過越の祭り」

1. 文脈の確認

- (1) エジプトに【主】からの 10 の災いが下る。
- (2) $3 \times 3 + 1 = 10$ という形式になっている。
- (3) フィナーレは、エジプトの長子の死である。
- (4) イスラエル人はその裁きを免れる。
- (5) 「過越の祭り」という言葉
 - ①ペサハ（ヘブル語）
 - ②パスカ（ギリシア語）
 - ③旧約聖書でも、新約聖書でも、この祭りへの言及が最も多い。
- (6) 「過越の祭り」の 3 つの意味
 - ①祭りの全体を指す場合
 - ②過越の子羊を指す場合
 - ③過越の子羊の準備を指す場合

*マタ 26 : 17、19、マコ 14 : 12、14～16、ルカ 22 : 8、13
- (7) ユダヤ人たちは、3 千年にわたって過越の祭りを祝ってきた。
 - ①今年は、3 月 30 日（火）から（29 日の日没から）始まる。
 - ②8 日間（過越の祭りが 1 日、種なしパンの祭りが 7 日）
 - ③過越の祭りの起源が、出エジプト記 12 章である。

2. メッセージのアウトライン

- (1) 過越の祭り（1～14 節）
- (2) 種なしパンの祭り（15～20 節）
- (3) 【主】の命令を実行するイスラエルの民（21～28 節）

3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

- (1) 過越の祭りの象徴的意味
- (2) 血の象徴的意味
- (3) ヒソプの象徴的意味
- (4) 礼拝の象徴的意味

このメッセージは、メシアの業について学ぼうとするものである。

I. 過越の祭り（1～14節）

1. 年の最初の月

- (1) アビブの月
- (2) ニサンの月（バビロン捕囚以降、バビロンの呼び名になる）
 - ①ネヘ2：1
 - ②エス3：7
- (3) 国の始まりの月なので、これが最初の月となる。

2. ニサンの月の10日

- (1) 羊を用意する。
- (2) 家族ごとに羊1頭。人数が少ない場合は、隣の人と分かち合う。
- (3) 羊の条件
 - ①傷がない。
 - ②1歳の雄である。
 - ③小羊かやぎのうちから取る。

3. ニサンの月の14日

- (1) 10日から14日まで、それをよく見守る。
 - ①ガードする（守る）。
 - ②吟味する。
- (2) 夕暮れにほふる
 - ①「夕暮れ」を直訳すると、「2つの夕暮れの間」となる。
 - ②14日の午後3時から日没までの間
 - ③日没から暗くなるまでの間（15日になっている）
 - ④両方の解釈が可能である。
- (3) その血を取る。
 - ①2本の門柱と、かもいに、それをつける。
 - ②象徴的な意味
 - *人間の全存在
 - 「これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい」（口語訳申6：9）
 - *十字架の形
 - ③これを行うのは、最初の過越の祭りのみである。

4. ニサンの月の15日

- (1) その夜、その肉を食べる。
- (2) 火に焼く(ロースト)
 - ① 生のままはいけない。
 - ② 水で煮てもいけない。
 - ③ 頭も足も内臓も全部いっしょに火で焼かなければならない。
- (3) それを朝まで残してはならない。
 - ① 残ったものは、火で焼く。
 - ② この祭りは特別なものなので、翌日に同じものを食してはならない。
- (4) 食べる時の姿勢(1度限りの命令)
 - ① 腰の帯を引き締め(旅立ちの格好)
 - ② 足に靴を履き
 - ③ 手に杖を持ち
 - ④ 急いで食べる
 - ⑤ 【主】が「旅立て」と言われたなら、すぐに従えるように。
 - ⑥ 約束の地では、ユダヤ人たちは横になって食した。
- (5) 【主】はその夜、エジプトの地を巡る。
 - ① エジプトの地のすべての初子を打つ。
 - * 人の初子
 - * 家畜の初子
 - ② エジプト人のすべての神々に裁きを下す。
- (6) 【主】はイスラエル人の家々を通り越す。

「あなたがたのいる家々の血は、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたの所を通り越そう。わたしがエジプトの地を打つとき、あなたがたには滅びのわざわいは起こらない」(13節)

 - ① 過越の祭りという言葉の起源
 - ② 【主】は、血を見て過ぎ越される。

5. 血の効用

- (1) 1～3の裁きは、エジプト人にもイスラエル人にも下った。
- (2) 4～9の裁きは、エジプト人にだけ下り、イスラエル人は区別された。
- (3) 第10番目の裁きは、両者に下る可能性があった。
- (4) 神の命令に従って血を塗ったので、イスラエル人は裁きを免れた。

6. 記念すべき日

- (1) 過越の祭りは代々守るべき祭りとなった（14節）。
「この日は、あなたがたにとって記念すべき日となる。あなたがたはこれを【主】への祭りとして祝い、代々守るべき永遠のおきてとしてこれを祝わなければならない」
- (2) 今でもユダヤ人たちは、この命令を実行している。

II. 種なしパンの祭り（15～20節）

1. 7日間の祭り

- (1) 過越の祭りは、1日だけの祭り
- (2) 種なしパンの祭りは、7日間の祭り
- (3) 新約時代には、8日間をまとめて「種なしパンの祝い」と呼ぶようになった。
 - ①ルカ 22：1
「さて、過越の祭りといわれる、種なしパンの祝いが近づいていた」

2. 種を入れないパンを食べる。

- (1) 7日間食べる（過越の祭りを入れると、8日間それを食べる）。
- (2) 急いでいたので、パン生地を発酵させる余裕がなかった。
 - ①これは旅のための食糧となった。
 - ②出 12：34、39
- (3) それに違反するなら、殺される。
- (4) 第1日と第7日に、聖なる会合を開く。
 - ①この期間の労働は禁止された。
 - ②調理だけは許された。

3. 永遠のおきて

- (1) 出エジプトの記念として、種なしパンの祭りを守る。

III. 【主】の命令を実行するイスラエルの民（21～28節）

1. 命令の伝達

- (1) 【主】 → モーセ → 長老たち → 家長 → 家族

2. 命令の内容

- (1) 家族ごとに羊を取り、過越のいけにえとしてほふる。
- (2) その血をかもいと2本の門柱につける。

- (3) 朝まで戸口から外に出てはならない。
- (4) 【主】は血をご覧になり、その戸口を過ぎ越される。
 - ①滅ぼす者がその家に入ってくることはない。
- (5) この儀式は、永遠に守るべき祭りとなる。
 - ①約束の地に入った時にそれを実行する。
 - ②子孫にその意味を伝える。
- (6) イスラエルの民は、【主】を礼拝した。つまり、同意した。

結論： このメッセージは、メシアの業について学ぼうとするものである。

1. 過越の祭りの象徴的意味

- (1) 政治的独立を祝うものではない。
- (2) 死からの解放を祝うものである。
- (3) エジプトの地のすべての初子が死んだ。
 - ①イスラエル人の初子も死ぬ可能性があった。
 - ②過越の子羊の命が、イスラエル人の初子の命の身代わりとなった。
- (4) 過越の子羊はメシアの型である。
 - ①ヨハ1：29
 - ②マタ20：28
 - ③マコ10：45

2. 血の象徴的意味

- (1) 罪のゆえに死が人類を支配するようになった。
「死のとげは罪であり、罪の力は律法です」（I コリ 15：56）
- (2) 罪は裁かねばならない。
- (3) 血は命を象徴する。
「なぜなら、肉のいのちは血の中にあるからである。わたしはあなたがたのいのちを祭壇の上で贖うために、これをあなたがたに与えた。いのちとして贖いをするのは血である」（レビ 17：11）
「それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです」（ヘブ 9：22）

3. ヒソプの象徴的意味（22 節）

- (1) 血は、【主】がそれを見て、過ぎ越すための「しるし」以上のものである。
- (2) ヒソプは、罪を清めるため、罪を覆うために用いられる植物である。

①レビ14:4~6、49~52

②民19:16、18

③詩51:7

「ヒソブをもって私の罪を除いてきよめてください。そうすれば、私はきよくなりましょう。私を洗ってください。そうすれば、私は雪よりも白くなりましょう」

(3) 旧約時代の犠牲の限界

①へブ9:9

「この幕屋はその当時のための比喻です。それに従って、ささげ物といけにえとがささげられますが、それらは礼拝する者の良心を完全にすることはできません」

4. 礼拝の象徴的意味 (27 節)

(1) 【主】の約束を信じたということ

(2) 出エジプト体験と私たちの霊的体験

①約束の地と永遠の御国の対比

②過越の子羊とイエスの対比

③イスラエルの民の信仰と私たちの信仰の対比

④イスラエルの民が体験した死への勝利と私たちの体験の対比